

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための感染経路の分析及び情報共有について

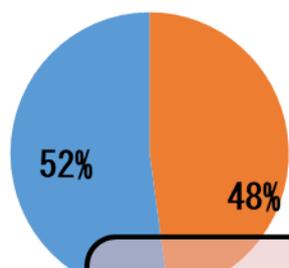
奈良県における取組

【担当省庁】厚生労働省

- 奈良県では、**感染経路を特定し、その経路を遮断すること**が**感染拡大防止に効果がある**との考えのもと、感染経路の推定に力を注いだ結果、新規感染判明時点では約半数の者が感染経路不明であったが、現時点では、**感染経路が不明確で推定が困難な者は92人中6人（7%）**となった。

新規感染判明時点での
感染経路不明者の割合
(N=92)

感染経路が
明確な者
48人/92人



感染経路が
不明な者
44人/92人

感染経路の分析を
進めた結果...

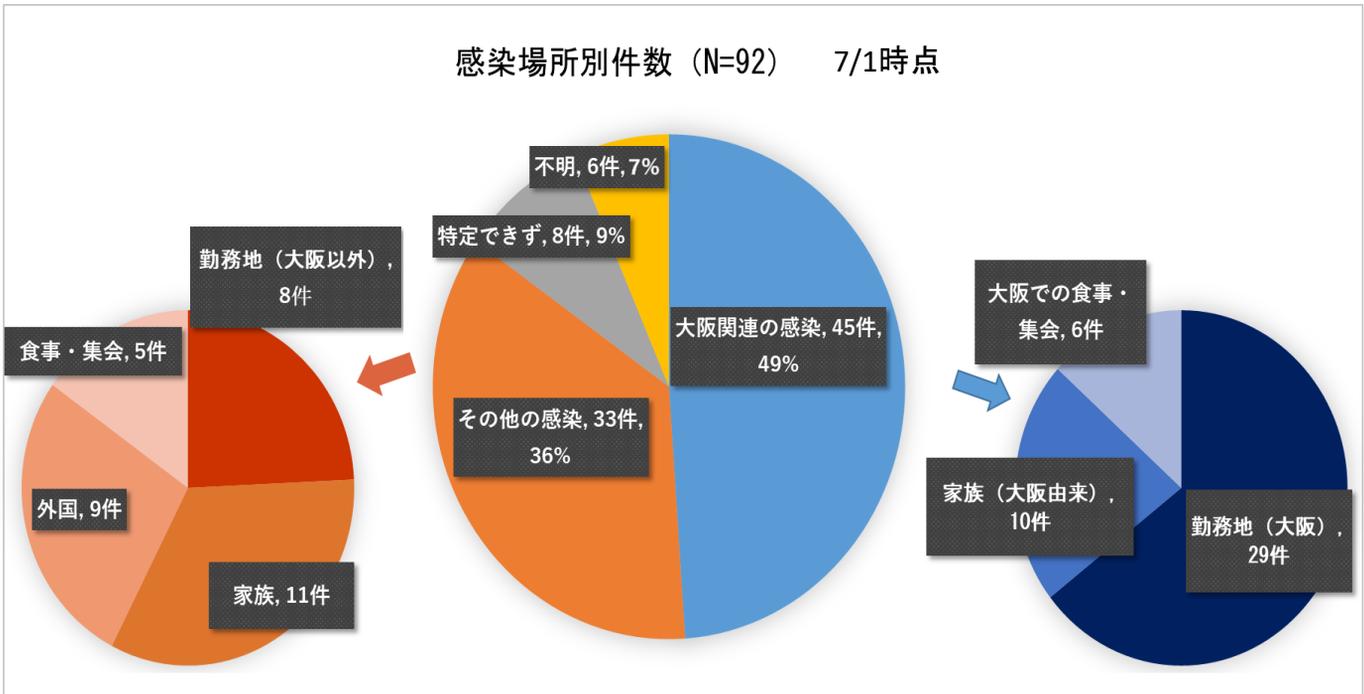


感染経路分類
(N=92) 7/1時点

分類		人数	小計
家族からの感染		21	21
勤務先	大阪府	29	37
	東京都	1	
	兵庫県	1	
	京都府	2	
	県内	4	
陽性者と食事	県外	3	5
	県内	2	
外国で感染	クルーズ船	2	9
	海外渡航	6	
	外客と接触	1	
集会	県外	4	6
	県内	2	
特定できず	買い物か？	1	14
	お出かけか？	6	
	家族か？	1	
不明		6	6

- しかしながら、奈良県だけではサンプル数が限られることから、今後のさらなる感染拡大を見据えると、**他の地域における感染経路に学ぶ**意義は大きいと考える。

- また奈良県では、**大阪関連の感染が多いこと**や**感染者数の推移が大阪府と連動**していることが分かってきたので、今後とも**大阪府での感染者の動向を常に注視し、県内での感染拡大の兆しを出来る限り予知**して、効果的な域内感染防止策を講じる考えである。



国にお願いすること

- 国において、統一方針のもと、**全国レベルでの感染経路分析を行う**こと。
- 各保健所が行った疫学調査結果や厚生労働省クラスター対策班が取りまとめた現地調査支援報告書などについて、個人情報に係る部分を除いて、**地方公共団体間で情報が共有できる仕組みを早急に構築**すること。